全国発送も承ります
讃岐伝統の味
石丸のうどん
そうめん・ひやむぎ
創業明治37年
石丸 製麺株式会社
本 社 香川県高松市香南町岡
☎(087)879-6111㈹ FAX879-8454

News spot

すべて片手で簡単操作
次世代型「車いす用テーブル」を開発
旭洋鉄工㈱

製缶・機械加工メーカーの旭洋鉄工㈱（高松市鹿角町　中野義弘社長）はこのほど、これまで蓄積してきた技術のノウハウと、約二年半の試行錯誤を繰り返して開発した次世代型「車いす用テーブル」を、この秋頃から商品化して販売に乗り出す。

はじめは養護施設からiPadを設置するための、車いす用テーブルの開発依頼を受けたことがきっかけ。その依頼をもとに研究開発を重ね続けて今回の商品化にまで至った。

すでに試作機は完成していて、国内特許を取得済み。現在は国際特許も申請中とのことだ。介護ショップなどを中心に販売し、月間100台の販売台数を見込む。

同社が開発した車いす用テーブルは、据付けから操作・作業まですべてが片手でできるという画期的なアイデア製品。

中野社長

車体本体に設置した据付け金具に可変式のテーブルフレームを差し込み固定。手前にレバーを引けば前傾に倒れたフレームが簡単に持ち上がり、使用者に合わせてテーブルの位置も調節できるアジャスタになっている。しかも、ほぼアルミ製のため極限まで軽量化されているほか、利き手にあわせて対応することも可。

テーブルには天板が入った布製バッグを使用。バッグの両サイドはファスナーになっていて、取っ手を掴んでそのまま前後させれば簡単に開けたり閉めたりできる仕組み。むろん、バッグに仕込まれた天板がテーブルの役割を果たすため簡易な作業はもちろん、少々重量のある物品を乗せても問題ないという。

また、このバッグも片手で取り付け・取り外しが可能で、財布やスマホなどの貴重品を収納できる小物入れにもなる。

同社によると、町の鉄工所は大手メーカーの下請けになりやすく、特に価格競争に陥りがちだという。その打開策の一つとして今回、付加価値の高い製品を自社発信で提供していこうと考え、これまで開発に取り組んできた。

同社中野社長は、「この新製品が売上に占める3本柱の一つになってほしい。」と、これからに期待。

新製品開発の中核を担ってきた新規事業部の岡田嘉之部長は、「障がいを持った方々が自分で色々なことにチャレンジしたいと思う気持ちを支援したい。新製品を通じて、自分のやりたいことを実現してほしい。」と、製品への思いを話している。

☎〇八七―八六五―六二六〇

本 お売り下さい
ビジネス書・文庫・単行本・雑誌
BOOK・OFF

坂出間税会の主催で6月20日に経済講演会「アベノミクス その光と影」

坂出間税会（坂出商工会議所内　吉原良一会長）は、来る6月20日に経済評論家の市川眞一氏を講師に招き、経済講演会「アベノミクスその光と影」を開催する。市川氏はクレディ・スイス証券チーフマーケット・ストラテジストで、ビジネスニュース番組「WBS」のコメンテーターとしても活躍中。

また第二部では地元経済人により「アジア広域経済圏へ進む中、中讃地域の企業の展望」と題してパネルディスカッションを行う。

吉原会長（吉原食糧㈱代表取締役社長）をコーディネーターとして、パネリストは田井秀樹（横井石油㈱代表取締役専務）、古川清二（ラモナー㈱工場長）、石井信之（丸二被服㈱常務取締役）、香川　聡（㈱香川建設代表取締役社長）、中井保輝（有）インターネット物流代表取締役）、萩原弘資（有）萩原総業 四国健康村代表取締役）の各氏。

会場はホテルサンルート瀬戸大橋。講演会は18時～19時15分、パネルディスカッションは19時25分～20時05分。聴講無料。当日参加も可。第二部終了後、会員以外でも参加できる懇親会（会費五千円）も予定している。

☎〇八七七―四六―二七〇一

総合建築業者の㈱中本屋工務店（倉敷市真備町　畑義人社長）は、銀行保証付私募債五千万円を発行。5月28日付で全額を百十四銀行が引き受けた。期間は5年間の一括償還で運転資金として活用する。マンション、個人住宅の建築、不動産開発、土木工事が主業務。最近では太陽光発電、農業事業にも取り組み中。

安心と信頼は人と人の間に生まれる
安心の輪を拡げる
四国警備保障株式会社
本社/高松市六条町1197-1 TEL087-865-0110(代)